

## 令和2年度 昭和館運営事業の実施状況について

(令和3年1月末日現在)

## 1 昭和館入場者状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昭和館は令和2年2月28日（金）から臨時休館し、6月2日（火）より新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開館した。

開館後は入館時間を1日4サイクルで入館者を入替えし、7月からは入館者の便宜等を考慮して1日2サイクルに変更した。10月からは、サーモグラフィによる検温方式を導入し、団体も1回100名以内で受け入れを行うなど、緩和を図った。

なお、開館後も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するため、イベント、研修等の開催については中止又は延期等の対応を行った。

## (1) 総入場者数

57,487人（各展示室等の入場者数の合計）

前年度同期 324,013人 対比 82.3%減

なお、平成11年度以降の入場者総数は、6,346,833人となった。

## (2) 各展示室等の入場者内訳

	令和2年度入場者数 (令和2年6月～令和3年1月)	令和元年度同期入場者数 (平成31年4月～令和2年1月)	対比
ア 常設展示室	11,769人	55,857人	78.9%減
個人有料入場者	7,182人	21,811人	67.1%減
団体有料入場者	230人	3,665人	93.7%減
無料入場者	4,357人	30,381人	85.7%減
小・中学生	2,888人	25,863人	88.8%減
イ 映像・音響室	7,614人	29,517人	74.2%減
ウ 図書室	3,459人	13,437人	74.3%減
エ 特別企画展	28,313人	112,486人	74.8%減
オ ニュースシアター	6,332人	112,716人	94.4%減
計	57,487人	324,013人	82.3%減

令和2年度 昭和館利用状況(令和3年1月31日現在)

A

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	
常設展示室	個人	65歳以上	0	0	41	67	137	126	200	126	77	19	793
		大人	0	0	434	573	1,331	731	742	760	458	271	5,300
		高・大学生	0	0	28	57	99	81	96	136	46	25	568
		小・中学生	0	0	36	71	441	121	250	121	103	28	1,171
		ぐるっとパス	0	0	11	30	91	89	83	118	57	42	521
		小計	0	0	550	798	2,099	1,148	1,371	1,261	741	385	8,353
	団体	遺族会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		大人	0	0	28	19	60	36	16	15	4	3	181
		高・大学生	0	0	1	1	2	1	3	39	2	0	49
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	42	216	1,459	0	1,717
		小計	0	0	29	20	62	37	61	270	1,465	3	1,947
	中計(ア)		0	0	579	818	2,161	1,185	1,432	1,531	2,206	388	10,300
	室	招待券	0	0	20	16	635	36	34	55	144	2	942
未就学児		0	0	10	18	29	20	15	21	12	9	134	
身体障害者等		0	0	34	27	80	69	44	59	54	26	393	
小計(イ)		0	0	64	61	744	125	93	135	210	37	1,469	
計①(ア)+(イ)		0	0	643	879	2,905	1,310	1,525	1,666	2,416	425	11,769	
音映響像室・	大人	0	0	509	639	1,458	882	979	953	608	467	6,495	
	高・大学生	0	0	17	35	48	32	30	63	20	18	263	
	小・中学生	0	0	32	67	313	75	79	125	126	39	856	
計②		0	0	558	741	1,819	989	1,088	1,141	754	524	7,614	
図書室	大人	0	0	232	249	617	370	349	430	346	317	2,910	
	高・大学生	0	0	1	12	24	10	10	21	7	13	98	
	小・中学生	0	0	10	31	160	33	43	84	68	22	451	
計③		0	0	243	292	801	413	402	535	421	352	3,459	
特別企画展④		0	0	2,140	2,883	7,672	2,757	7,374	4,029	1,458	0	28,313	
ニュースシアター⑤		0	0	527	839	1,511	810	729	796	682	438	6,332	
合計①+②+③+④+⑤		0	0	4,111	5,634	14,708	6,279	11,118	8,167	5,731	1,739	57,487	

B

		昨年度同期累計	A-B
個人	65歳以上	4,863	-4,070
	大人	13,173	-7,873
	高・大学生	2,196	-1,628
	小・中学生	3,678	-2,507
	ぐるっとパス	1,579	-1,058
	小計	25,489	-17,136
団体	遺族会	324	-324
	大人	2,477	-2,296
	高・大学生	864	-815
	小・中学生	22,185	-20,468
	小計	25,850	-23,903
中計(ア)		51,339	-41,039
無料	招待券	2,926	-1,984
	未就学児	308	-174
	身体障害者等	1,284	-891
	小計(イ)	4,518	-3,049
計①(ア)+(イ)		55,857	-44,088
大人	大人	19,700	-13,205
	高・大学生	1,106	-843
	小・中学生	8,711	-7,855
計②		29,517	-21,903
大人	大人	9,234	-6,324
	高・大学生	396	-298
	小・中学生	3,807	-3,356
計③		13,437	-9,978
特別企画展④		112,486	-84,173
ニュースシアター⑤		112,716	-106,384
合計①+②+③+④+⑤		324,013	-266,526

令和2年度 特別企画展・巡回特別企画展等入場者状況

令和3年1月31日現在

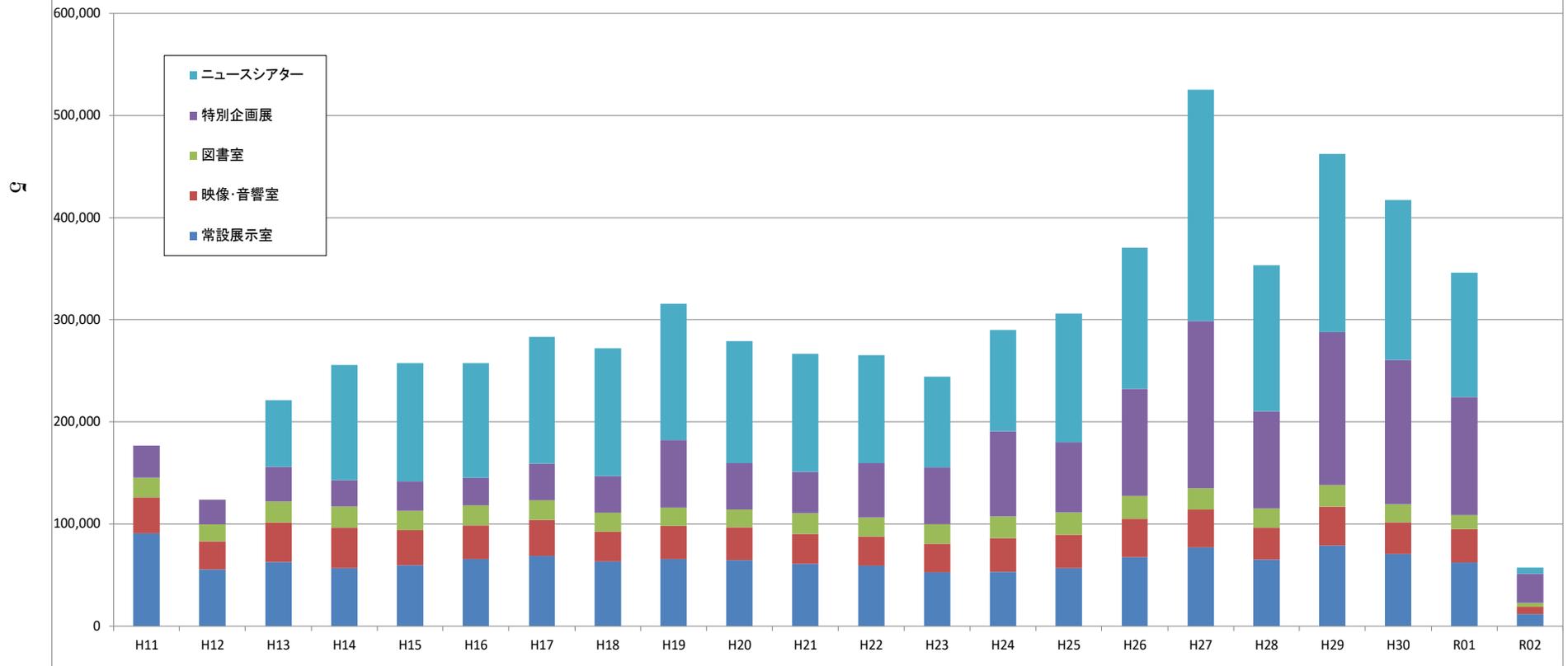
内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
SF・冒険レトロフューチャー ～ぼくたちの夢とあこがれ～ (イベント含む)	0	0											0
写真展「東京情景 —師岡宏次がみた昭和—」第1期 (イベント含む)	0	0	2,121	572									2,693
写真展「東京情景 —師岡宏次がみた昭和—」第2期 (イベント含む)				1,079	3,644	2,046	2,861	2,471	1,431				13,532
「こども霞が関見学デー」(中止)													0
各種イベント等	0	0	19	0	23	0	23	0	27	0			92
戦後75年「占領から独立までの軌跡1945-1952」 7/18～9/6 (イベント含む)				1,232	4,005	711					0	0	5,948
紙芝居定期上演会		0		0		0		44					44
教員のための博物館体験				0	0								0
戦後75年3館連携企画展「未来へつなく戦中・戦後の記憶」 10/2～10/11							1,293						1,293
くらしにみる昭和の時代 鳥取展 10/24～11/3							3,197	1,514					4,711
特別企画展「丈夫なからだで病を防げ！～健康づくりと 感染症予防」(仮称) 3/13～5/9 (イベント含む)												0	0
写真展「マンガ『風太郎不戦日記』を通して知る戦時下 のくらし」(仮称) 3/20～5/9 (イベント含む)												0	0
合 計	0	0	2,140	2,883	7,672	2,757	7,374	4,029	1,458	0	0	0	28,313

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和2年度)

	常設展示室						映像・音響室	図書室	特別企画展	ニュースシアター	総計
	大人	高校・大学生	小・中学生	ぐるっとバス	無料	合計					
平成11年度	84,620	2,479	3,737	-	-	90,836	35,236	19,398	31,142	-	176,612
平成12年度	40,457	1,973	10,186	-	2,914	55,530	27,661	16,370	24,112	-	123,673
平成13年度	36,830	2,396	19,739	-	3,610	62,575	38,866	20,616	33,903	65,124	221,084
平成14年度	29,847	3,373	19,710	-	4,016	56,946	39,286	20,622	26,204	112,402	255,460
平成15年度	28,802	2,725	22,713	-	5,235	59,475	34,328	19,072	28,953	115,594	257,422
平成16年度	29,862	3,140	27,162	-	5,592	65,756	33,046	19,573	26,920	112,164	257,459
平成17年度	30,288	2,596	29,502	-	6,265	68,651	35,416	19,449	35,611	124,259	283,386
平成18年度	28,407	2,919	25,504	-	6,363	63,193	29,225	18,465	35,848	125,484	272,215
平成19年度	26,845	3,611	27,519	-	7,605	65,580	32,683	17,617	66,280	133,564	315,724
平成20年度	23,469	3,245	31,847	-	6,082	64,643	32,101	17,270	45,719	119,418	279,151
平成21年度	20,997	2,412	28,736	2,540	6,059	60,744	29,787	19,898	40,627	115,523	266,579
平成22年度	21,076	2,605	28,051	2,102	5,194	59,028	28,388	19,011	53,423	105,242	265,092
平成23年度	18,400	3,347	24,067	1,815	4,868	52,497	28,410	19,130	55,293	88,989	244,319
平成24年度	19,340	2,644	24,419	1,662	5,206	53,271	33,092	20,984	83,568	99,329	290,244
平成25年度	20,952	3,173	24,932	1,636	6,284	56,977	32,653	22,013	68,427	126,225	306,295
平成26年度	20,367	3,225	33,335	1,884	8,524	67,335	37,692	22,523	104,753	138,008	370,311
平成27年度	28,362	3,689	34,660	2,559	7,667	76,937	37,252	20,499	163,928	226,440	525,056
平成28年度	21,932	3,264	33,706	1,913	4,461	65,276	31,007	18,781	95,210	143,326	353,600
平成29年度	23,737	3,152	44,970	1,795	5,091	78,745	38,110	21,449	149,538	174,407	462,249
平成30年度	24,890	4,060	34,244	1,818	5,572	70,584	31,176	17,626	141,383	156,586	417,355
令和元年度	22,094	3,227	30,812	1,730	4,655	62,518	32,285	14,095	115,478	121,684	346,060
令和2年度 「令和3年1月31日現在」	6,274	617	2,888	521	1,469	11,769	7,614	3,459	28,313	6,332	57,487
合計	607,848	63,872	562,439	21,975	112,732	1,368,866	705,314	407,920	1,454,633	2,410,100	6,346,833

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和2年度)

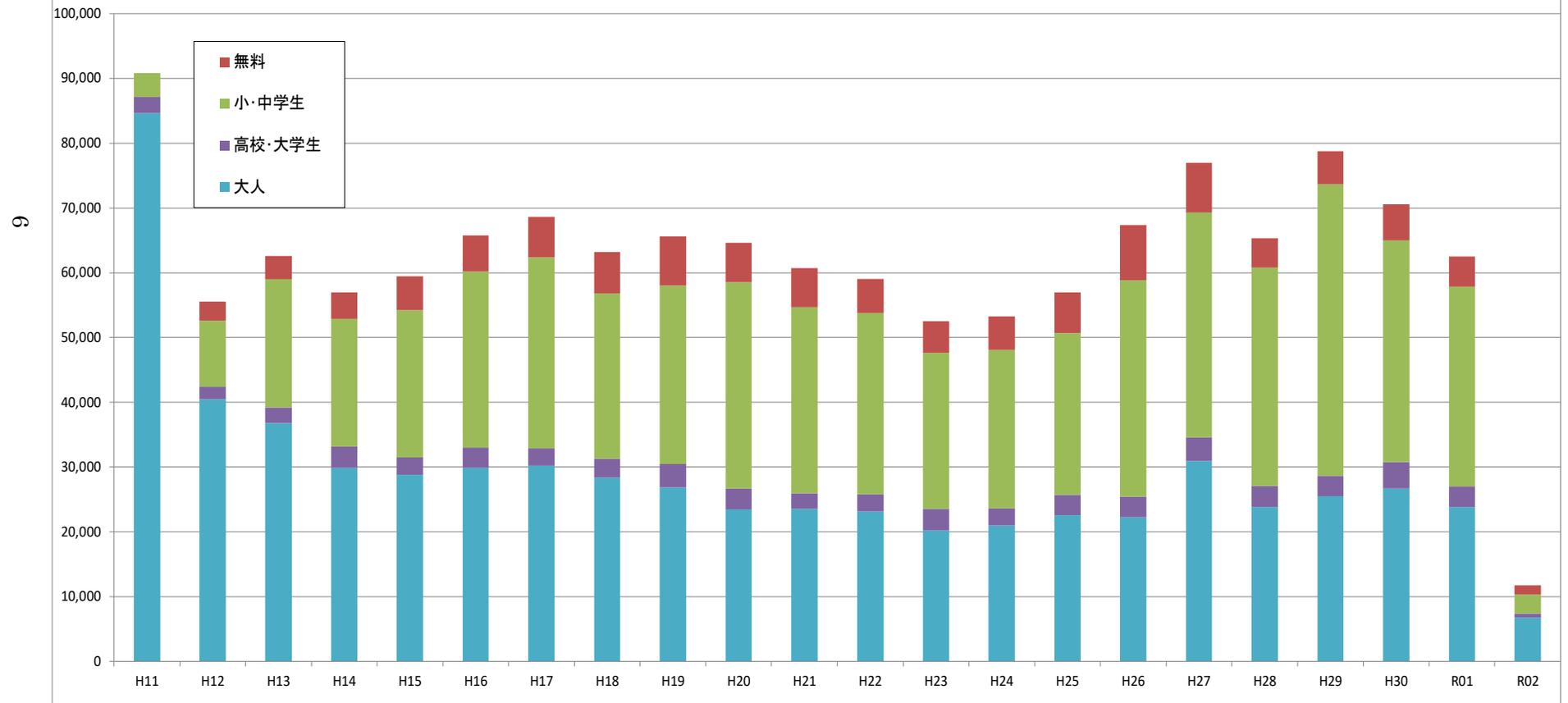
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	合計
常設展示室	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	11,769	1,368,866
映像・音響室	35,236	27,661	38,866	39,286	34,328	33,046	35,416	29,225	32,683	32,101	29,787	28,388	28,410	33,092	32,653	37,692	37,252	31,007	38,110	31,176	32,285	7,614	705,314
図書室	19,398	16,370	20,616	20,622	19,072	19,573	19,449	18,465	17,617	17,270	19,898	19,011	19,130	20,984	22,013	22,523	20,499	18,781	21,449	17,626	14,095	3,459	407,920
特別企画展	31,142	24,112	33,903	26,204	28,953	26,920	35,611	35,848	66,280	45,719	40,627	53,423	55,293	83,568	68,427	104,753	163,928	95,210	149,538	141,383	115,478	28,313	1,454,633
ニュースシアター	-	-	65,124	112,402	115,594	112,164	124,259	125,484	133,564	119,418	115,523	105,242	88,989	99,329	126,225	138,008	226,440	143,326	174,407	156,586	121,684	6,332	2,410,100
総計	176,612	123,673	221,084	255,460	257,422	257,459	283,386	272,215	315,724	279,151	266,579	265,092	244,319	290,244	306,295	370,311	525,056	353,600	462,249	417,355	346,060	57,487	6,346,833



※令和2年度は令和3年1月31日現在の数字。

昭和館入場者(常設展示室)状況の推移(平成11年度～令和2年度)

常設展示室	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	合計
大人	84,620	40,457	36,830	29,847	28,802	29,862	30,288	28,407	26,845	23,469	23,537	23,178	20,215	21,002	22,588	22,251	30,921	23,845	25,532	26,708	23,824	6,795	629,823
高校・大学生	2,479	1,973	2,396	3,373	2,725	3,140	2,596	2,919	3,611	3,245	2,412	2,605	3,347	2,644	3,173	3,225	3,689	3,264	3,152	4,060	3,227	617	63,872
小・中学生	3,737	10,186	19,739	19,710	22,713	27,162	29,502	25,504	27,519	31,847	28,736	28,051	24,067	24,419	24,932	33,335	34,660	33,706	44,970	34,244	30,812	2,888	562,439
無料	-	2,914	3,610	4,016	5,235	5,592	6,265	6,363	7,605	6,082	6,059	5,194	4,868	5,206	6,284	8,524	7,667	4,461	5,091	5,572	4,655	1,469	112,732
総計	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	11,769	1,368,866



※令和2年度は令和3年1月31日現在の数字。

## 2 広報活動の実施状況

### (1) 昭和館事業のPR活動等

事業内容のPRのため、東京メトロ九段下駅4出口、東西線2番ホーム、半蔵門線3番ホームの電飾掲示板に掲示し事業内容のPR活動を行い、都営新宿線車内の窓上にもポスターを掲示した。さらに、JR飯田橋駅構内に電飾看板を掲示し、JRの利用客にもPR活動を行った。

また、特別企画展開催等の際には、九段郵便局等にポスターを掲示する等PRに努めた。

なお、郵便局の利用については、巡回特別企画展開催時においても行った。

さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかどく」、JTBや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区報等に当館の紹介記事を掲載した。

その他、読売新聞、東京新聞、産経新聞、毎日新聞、日本教育新聞等に広報記事を掲載した。

### (2) 広報資料の送付等

8頁の広報活動状況のとおり、「昭和館館報」については、令和2年8月に都道府県、政令指定都市、教育委員会、東京特別区、全国の老人クラブ連合会、各省庁図書館等に対して送付した。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には「昭和のくらし研究」も併せて送付した。

令和2年7月上旬に千代田区の小学校の全校生徒、千代田区を除く22区と9市の小学校5年生、令和元年度に来館した小学校と中学校に昭和館と学校をつなぐ広報誌「昭和館だより第34号」と貸出キット、作文コンクール、中学生・高校生ポスターコンクールのチラシを送付するとともに、1都3県の小・中・高等学校へ「語り部講師派遣」のチラシを送付し、来館促進及び周知を図った。

また、令和2年6月上旬に全国の公立小・中・中等学校に「昭和館だより第34号」を送付し、11月上旬に、全国の公立小・中学校に対して「昭和館だより第35号」を送付した。

全国の公立中学校・高等学校に「中学生・高校生ポスターコンクール」のチラシ、1都3県の公立小・中・高等学校へ「語り部講師派遣」のチラシ、1都3県の公立小・中学校へ貸出キット、写真展のチラシを送付し周知を図った。

### (3) 「昭和館だより」の発行

昭和館の活動を学校等に随時伝えるため、広報誌「昭和館だより第34号」、「昭和館だより第35号」を、令和2年6月と11月に発行し、(2)に記載した教育関係機関に発送した。

### (4) 昭和館の刊行物の発刊

- ① 平成元年度の昭和館の活動状況をまとめた「昭和館館報」(第21号)を令和2年7月に発刊した。
- ② 「昭和のくらし研究」(第19号)を令和3年3月に発刊予定。

# 広 報 活 動 状 況

## 1 地方公共団体等への「昭和館館報」「昭和のくらし研究」の送付

広報対象機関名	館報	昭和のくらし研究	実施日
都道府県	47	—	2020年 8月
政令指定都市	20	—	
教育委員会	244	—	
東京特別区	23	—	
都道府県遺族会	47	47	
全国の老人クラブ連合会	60	—	
類似施設	314	314	
資料寄贈者	229	—	
大学図書館等	192	211	
オーラルヒストリー関係者	17	—	
遺族会・運営専門委員会・国会図書館・各省庁図書館	51	2 ※国会図書館は2冊	

## 2 全国の学校等への広報資料の送付

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより34号」	貸出キット チラシ	中学生・高校生 ポスターコン クール	昭和館見学 作文コンクール	語り部講師 派遣チラシ	実施時期
全国の公立小学校	19,600	19,600	19,600	—	—	—	2020年 6月、7月
全国の公立中学校	10,200	10,200	10,200	10,200	—	—	
全国の公立高等学校	5,300	—	—	5,300	—	—	
東京都の校長会等で配布依頼した小学校	1,054	116,380 (5年生、千代田区を除く)	—	—	1,054	—	
千代田区内の公立小学校	8	3,470 (全校生徒)	8	—	8	—	
小学校来館校(東京都)	50	2,500 (1校×50枚)	50	—	50	—	
小学校来館校(その他)	120	6,000 (1校×50枚)	120	—	120	—	
中学校来館校(東京都)	28	1,400 (1校×50枚)	28	28	28	28	
中学校来館校(その他)	50	2,500 (1校×50枚)	50	50	50	50	
東京・神奈川・埼玉・千葉の公立小・中・高等学校	7,106	—	—	—	—	7,106	

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより35号」	貸出キット チラシ	写真展 チラシ	実施時期
全国の公立小学校	19,700	19,700	—	—	2020年 11月
東京・神奈川・埼玉・千葉の公立小学校	3,900	—	—	3,900	
全国の公立中学校	10,300	10,300	—	—	
東京・神奈川・埼玉・千葉の公立小・中学校	6,150	—	6,150	—	

3 公共交通、新聞へのポスター、公告等掲載

広報媒体	掲 載	方 法	内 容	実施時期	備考
教育新聞	日本教育新聞	イベント広告	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	6月22日	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント広告	昭和館の紹介（春の特別企画展）	6月22日	〃
教育新聞	日本教育新聞	紹介記事	昭和館の案内	2020年6月号	〃
新聞広告	フジサンケイビジネスアイ	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	7月17日	〃
新聞広告	東京新聞「夏のミュージアム巡り」	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	7月18日	〃
新聞広告	東京新聞「ワクワクかわら版」	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	7月21日～26日	〃
新聞広告	産経新聞「タウン情報」	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	7月22日	〃
新聞広告	産経新聞	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	7月29日	〃
新聞広告	デイリースポーツ新聞	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	8月1日～9日	〃
新聞広告	報知新聞	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	8月1日	〃
新聞広告	東京新聞「話題の掲示板」	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	8月7日	
新聞広告	デイリースポーツ新聞	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	8月10日～20日	〃
新聞広告	読売新聞	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	8月28日	〃
新聞広告	産経新聞「タウン情報」	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	8月29日	〃
新聞広告	東京新聞「ワクワクかわら版」	紹介記事	昭和館の紹介（夏の特別企画展）	9月16日～20日	〃
新聞広告	産経新聞「タウン情報」	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	9月27日	〃
新聞広告	フジサンケイビジネスアイ	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	9月30日	〃
新聞広告	埼玉新聞「秋の観光特集」	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	10月8日	〃
新聞広告	デイリースポーツ新聞	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	10月13日～26日	〃
新聞広告	東京新聞「秋のミュージアム巡り」	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	10月16日	〃
新聞広告	産経新聞	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	10月20日	〃
新聞広告	デイリースポーツ新聞	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	11月1日～10日	〃
新聞広告	産経新聞「タウン情報」	紹介記事	昭和館の紹介（写真展）	11月29日	〃
広報誌	旅行読売	紹介記事	昭和館の案内	2020年6月号	〃
広報誌	旅行読売	紹介記事	昭和館の案内	2020年11月号	〃
広報誌	千代田区風ぐるまバスブック	紹介記事	昭和館の案内	2021年版	〃
公共交通	JR東日本飯田橋駅	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	〃
公共交通	都営地下鉄新宿線（出口4）	車内広告	昭和館の案内	通年	〃
公共交通	東京メトロ半蔵門線九段下駅（3番ホーム）	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	〃
公共交通	東京メトロ東西線九段下駅（2番ホーム）	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
標識看板	消火栓標識柱広告看板	紹介記事	昭和館の紹介（春の特別企画展ほか）	通年	〃
郵便局	九段	イベント広告	昭和館の紹介（特別企画展・写真展・資料公開コーナー）	通年	〃
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（春特別企画展）	7月2日	無料
新聞	東京新聞「ほっとなび」	イベント案内	昭和館の紹介（写真展）	7月2日	〃
新聞	東京新聞「ほっとなび」	紹介記事	昭和館（写真展）	7月16日	〃
新聞	毎日新聞	紹介記事	昭和館（夏特別企画展）	7月18日	〃
新聞	産経新聞	紹介記事	昭和館（夏特別企画展）	7月18日	〃
新聞	東京新聞「ほっとなび」	イベント案内	昭和館の紹介（夏特別企画展）	7月30日	〃
新聞	朝日新聞「展覧会」	イベント案内	昭和館の紹介（夏特別企画展）	8月4日	〃
新聞	読売新聞	紹介記事	昭和館・語り部	8月15日	〃
新聞	公明新聞	紹介記事	昭和館の案内	8月16日	〃
新聞	産経新聞	紹介記事	昭和館の案内	8月16日	〃

広報媒体	掲 載	方 法	内 容	実施時期	備考
新聞	読売新聞	紹介記事	語り部	8月24日	無料
新聞	朝日新聞	紹介記事	岩手県巡回特別展	10月4日	〃
新聞	岩手日報	紹介記事	岩手県巡回特別展	10月6日	〃
新聞	岩手日日新聞	紹介記事	岩手県巡回特別展	10月8日	〃
新聞	日本海新聞	紹介記事	鳥取県巡回特別展	10月25日	〃
新聞	読売新聞	紹介記事	鳥取県巡回特別展	10月30日	〃
新聞	朝日新聞	紹介記事	鳥取県巡回特別展	10月30日	〃
新聞	山陰中央新報	紹介記事	鳥取県巡回特別展	10月31日	〃
新聞	山陰中央新報	紹介記事	昭和館	11月16日	〃
新聞	朝日新聞	紹介記事	語り部	12月13日	〃
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（写真展）	12月10日	〃
広報誌	広報千代田	イベント案内	昭和館の紹介（特別企画展・写真展・資料公開コーナー）	通年	〃
広報誌	道具学会News	イベント案内	昭和館の紹介（特別企画展・写真展）	通年	〃
広報誌	千代田区ミュージズ&シアターマップ2020	紹介記事	昭和館の案内	2020年版	〃
広報誌	ちよだ生涯学習ガイドマップ2020	紹介記事	昭和館の案内	2020年春	〃
広報誌	ちかたく	紹介記事	昭和館の案内	2020年4月号	〃
広報誌	散歩の達人	紹介記事	昭和館の案内	2020年4月号	〃
広報誌	地球の歩き方 2021～22	紹介記事	昭和館の案内	9月1日	〃
広報誌	東京観光バリアフリー情報ガイド2020	紹介記事	昭和館の案内	2020年10月号	〃
広報誌	JTB「詳細地図で歩きたい町 東京'21」	紹介記事	昭和館の案内	2020年10月号	〃
広報誌	東京人	イベント案内	昭和館の紹介（写真展）	2020年10月号	〃
広報誌	アキメク！千代田	イベント案内	昭和館の紹介（写真展）	2020年10月号	〃
雑誌	常陽藝文	イベント案内	昭和館（夏特別企画展）	通年	〃
雑誌	週刊新潮	紹介記事	昭和館（夏特別企画展）	29号	〃
雑誌	クロワッサン	紹介記事	昭和館（写真展）	1032号	〃
雑誌	時空旅人	紹介記事	昭和館の案内	9月号	〃
WEB	カシオAyamu地域介護	紹介記事	昭和館の案内	10月号	〃
WEB	e-navita	紹介記事	昭和館の案内	2021～22	〃
WEB	東京観光GOTOKYO	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	ジョルダンパスポート	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	ナビタイムジャパン	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	東京ライブ&エキヒビッツ	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	旅色プラス	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	J A F	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	東京アートファン	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	ベネッセスタイルケア「介護アンテナ」	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	【PATW】楽天グループ「無料パンフレット掲載アプリ」	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	ツーリストガイド	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
WEB	Japan Sports Joumey	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃
ゲームアプリ	JR東日本「トレすご」	紹介記事	昭和館の案内	通年	〃

## (5) 昭和館ホームページ

常設展示室の展示替えをはじめ、特別企画展や巡回特別企画展、写真展や資料公開コーナーなどの展示案内、紙芝居の上演会やオーラルヒストリー特別上映会といった催物の案内に加えて、語り部育成事業についても研修の様子や定期講和会や語り部派遣など最新情報発信のため、月2～5回の内容更新を行った。

今年度のアクセス件数は、令和3年1月31日(日)現在188,983件(1日平均617.5件)、子ども向け「昭和館キッズナビ」のアクセス件数は、3,551件(1日平均11.6件)であった。

## (6) SNS

ツイッターやフェイスブックではイベントの開催案内やニュースシアターの上映作品、図書室の資料紹介等を発信し、特別企画展や写真展開催中は展示資料等の紹介も行った。ユーチューブでは街頭紙芝居や疎開ジオラマ、ホームページで紹介している米国立公文書館所蔵映像等を提供している。

令和3年1月31日現在のアクセス数等は、以下の通りである。

Twitter登録者数	フェイスブック閲覧者数	YouTube視聴回数
1,517	11,971	28,689

## 3 来館促進対策

### (1) 常設展示室の入場無料等について

「昭和の日」令和2年4月29日(水)は臨時休館中のため実施しなかった。

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」令和2年8月15日(土)に入場無料を実施した。

### (2) 第19回 昭和館見学作文コンクール【資料3】

昭和館及び巡回特別企画展を見学した小・中学生を対象に実施した令和2年度の見学作文コンクールは、新型コロナウイルスの影響を受けて、募集対象を「次世代の語り部」派遣を利用した小中学校にも拡大して周知を行った。

団体来館校が例年に比べて大幅に減少しており、1校の小学生(6年)、個人2名(中2・中3)から合計6作品の応募であった。

応募数が例年に比べて激減したため、審査は行わず、応募者全員に昭和館特別賞の授与と記念品を贈呈することとした。

### (3) 第13回 昭和館中学生・高校生ポスターコンクール【資料4】

「あなたが感じた戦中・戦後の昭和の暮らし」をテーマに、中学生・高校生の手作りポスターコンクールを実施した。令和2年度は15校から113作品の応募があった。

最優秀賞、優秀賞などの各賞を決定し、3月上旬に賞状及び賞品の送付、4月中旬にホームページで各賞を発表する予定。

### (4) 教員のための博物館体験

学校と博物館の連携を図ることを目的に、学芸員による展示趣旨・方法の解説、収蔵庫など

のバックヤード見学等を、小中高校の教員を対象として、例年は7月及び8月の夏休み期間に実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、延期とした。令和3年1月に再度緊急事態宣言が発令されたため、年度内の実施を中止した。

### (5) 貸出キットの貸出状況

実物資料、グラフィックパネル、証言映像DVDの貸出キットについて、広報用チラシの配布を行い、来館者及び巡回特別企画展来場者へ周知を図った。

なお、令和2年度の貸出状況は以下の通りである。

(単位:件)

都道府県	小学校	中学校	地方公共団体	その他	合計
岩手県				1	1
東京都	2	2	3	2	9
神奈川県	1		1		2
千葉県	2				2
埼玉県			2		2
茨城県				1	1
静岡県				1	1
石川県				1	1
大阪府	1				1
長崎県		1			1
合計	6	3	6	6	21

### (6) 紙芝居定期上演会

昭和館所蔵の紙芝居を紙芝居師が実演する上演会(1日3回。奇数月に開催)を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月から9月までは実施を中止した。

11月については、従来3回目の上演時に行っていたワークショップの要素を取り入れた来場者の上演体験については、新型コロナウイルス感染防止のため実施を見合わせた。

上演日	入場者	演目
令和2年11月28日(土)	44人	「ぎくがく地獄」「声ひとすじ」

今後の予定

上演日	演目
令和3年3月27日(土)	「見えない悪魔 第二 早期診断篇」(昭和17年) 「虱夫婦物語」(昭和22年)

### (7) こども霞ヶ関見学デー

新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

## 4 展示事業

### (1) 常設展示

長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行った。

- ① 令和2年7月27日(月)から7月29日(水)までの3日間、常設展示室を休室し資料交換作業を実施した。
- ② 令和3年1月5日(火)から15日(金)までの11日間、常設展示室を休室し、第10回常設展示室展示替えを実施した。【資料5】

### (2) 特別企画展

#### ① 「SF・冒険・レトロフューチャー ～ぼくたちの夢とあこがれ～」

○開催期間

令和2年3月14日(土)～5月10日(日)

○特別協力

講談社

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

いつの時代においても、少年たちは読み物から想像力を刺激され、さまざまな事象にあこがれを抱いた。世相の変化とともに、あこがれの対象は移り変わっていった。

本展覧会では、おもに戦中・戦後の少年たちが、科学や宇宙、未来へと胸を躍らせ、夢と希望を抱くきっかけをつくった少年文化の移り変わりを紹介する。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため2月28日から6月1日まで臨時休館となり、公開できないまま終了となった。

## ② 戦後75年特別企画展

「占領から独立までの軌跡 1945－1952」

### ○開催期間

令和2年7月18日（土）～9月6日（日）

### ○後援

千代田区、千代田区教育委員会

### ○内 容

終戦から昭和27年4月28日にサンフランシスコ平和条約が発効し、日本が独立を果たすまでの6年8ヶ月間、いわゆる占領期を中心に、戦後日本の社会や生活、文化の移り変わりを紹介した。

### ○入場者数 5,948人（135人／1日）

## ③ 「丈夫なからだで病を防げ！～健康づくりと感染症予防～（仮称）」【資料6】

### ○開催期間

令和3年3月13日（土）～5月9日（日）

### ○後援

千代田区、千代田区教育委員会

### ○内 容

健康を維持し、免疫力を高め、丈夫な身体をつくることは、充実した生活を営むための根幹ともいえる。人が「健康」を得るための取り組みは、時代の変容によってその目的も変わっていく。この企画展では、昭和における「健康」「からだづくり」をテーマとして取り上げ、病気と快復、運動とからだづくり、食生活と栄養、厚生事業等に関わる資料を紹介する。

## （3）巡回特別企画展

### ① 昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館

戦後75年3館連携企画展「未来へつなぐ戦中・戦後の記憶」

### ○開催期間

令和2年10月2日（金）～10月11日（日）

### ○会 場

盛岡市民文化ホール 展示ホール（盛岡市盛岡駅西通2-9-1）

### ○主 催

昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館

○共 催  
岩手県、盛岡市

○協力・後援等

- ・協 力 一般財団法人岩手県遺族連合会及び一般財団法人日本遺族会第1ブロック
- ・後 援 岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 岩手日報社 岩手日日新聞社 盛岡タイムス社 デーリー東北新聞社 読売新聞盛岡支局 朝日新聞盛岡総局 毎日新聞盛岡支局 産経新聞盛岡支局 共同通信社盛岡支局 NHK盛岡放送局 テレビ岩手 IBC岩手放送 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手 ラヂオ・もりおか 岩手ケーブルテレビジョン

○内 容

終戦から75年を迎える節目の年に、東京の国立施設である昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館が合同で展示会を開催した。

昭和館のコーナーでは戦中・戦後の岩手県に関連する実物資料や写真を通し、人々のくらしという視点から昭和の時代を紹介した。岩手特設コーナーでは浅野七之助、横田チエといった、終戦直後の人々の生活を支えた岩手の先人について紹介した。

○入場者数 1,293人(144人/1日)

## ②「くらしにみる昭和の時代 鳥取展」

○開催期間

令和2年10月24日(土)～11月3日(日)

○会 場

鳥取県立博物館(鳥取市東町2丁目124)

○主 催

昭和館

○協賛・後援等

- ・協 賛 一般社団法人鳥取県遺族会及び一般財団法人日本遺族会第4ブロック
- ・後 援 鳥取県 鳥取県教育委員会 鳥取市 鳥取市教育委員会 新日本海新聞社 朝日新聞鳥取総局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 山陰中央新報鳥取本社鳥取総局 NHK鳥取放送局 山陰放送鳥取支社 日本海テレビジョン放送 山陰中央テレビ鳥取支社 日本海ケーブルネットワーク テレビ朝日鳥取支局 FM鳥取 エフエム山陰鳥取支社

○内 容

戦中・戦後の鳥取県に関連する実物資料や写真を通し、人々のくらしという視点から昭和の時代を紹介した。特設展示として、昭和館所蔵の高橋春人ポスターコレクション、米子市在住の人形作家・安部朱美制作の新作人形、漫画家・こうの史代の原画作品を展示した。

○入場者数 4,711人(約471人/1日)

#### (4) 写真展の開催（2階ひろば）

##### ① 戦後75年企画

「東京情景－師岡宏次がみた昭和（第1期）」

○開催期間

令和2年3月20日（金）～7月12日（日）

（4月1日（水）～6月1日（月）新型コロナウイルス感染防止のため休止）

○内 容

「戦争への不安と人びとの暮らし」と題し、写真家師岡宏次が戦前から終戦までの東京を写した作品を紹介した。新型コロナウイルス感染防止対策として4月1日（水）～6月1日（月）まで休止した。

○入場者数

5,440人（全期間）

（令和2年4月以降は2,693人）

##### ② 戦後75年企画

「東京情景－師岡宏次がみた昭和（第2期）」

○開催期間

令和2年7月18日（土）～12月20日（日）

○内 容

「焼けあとかからの出発」と題し、終戦から復興へと向かう東京を写した作品を紹介した。

○入場者数

13,532人

##### ③ 「マンガ『風太郎不戦日記』を通して知る戦時下の暮らし」（仮称）【資料7】

○開催期間

令和3年3月20日（土）～5月9日（日）

○内 容

漫画家勝田文が描いた『風太郎不戦日記』の誌面を通じた戦時下の暮らしと作家山田風太郎と同時代を生きた男子学生たちの青春を所蔵写真から紹介する。

※詳細につきましては、令和3年度事業計画（資料2）にてご説明させていただきます。

## 5 資料収集

### (1) 実物資料の収集

令和2年度は収蔵庫の整理を優先し、資料収集については最小限にとどめているが、資料補修等は従来通り進める。

令和3年1月末日における実物資料点数は、以下の通りである。

	令和2年度収集	累 計
寄贈資料	0点	46,309点
購入資料	0点	14,645点
厚生労働省資料	0点	3,243点
寄託資料	0点	485点
計	0点	64,682点

### (2) 図書資料の収集

令和2年度は、写真集や手記、部隊史などに重点を置いて収集に努め、巡回特別企画展の開催地及び開催予定地、未開催地関連の資料の充実をはかるとともに、閲覧希望が多い青少年向け雑誌・婦人雑誌などの欠号補充、児童書や学習漫画の購入を行った。

令和3年1月末日における図書・雑誌資料の収集は以下の通りである。

	令和2年度収集		累 計
国民生活関係図書	1,397冊	(659冊寄贈)	66,234冊
戦争に関する基本図書	400冊	(154冊寄贈)	22,076冊
独自資料	0冊		35,980冊
その他基本図書	26冊	(22冊寄贈)	11,619冊
計	1,823冊	(835冊寄贈)	135,909冊

### (3) 写真資料の収集

- ・ 学徒出陣の体験をもつ川島東氏の大学時代の写真13枚（寄贈）。
- ・ 堀越一美氏が所蔵していた昭和10年代の警視庁警察練習所の絵葉書33枚。（寄贈）

### (4) オーラルヒストリーの制作

「戦中・戦後の国民生活」の労苦を伝える事業の一環として、平成16年度から体験者の証言を映像記録として残す事業を進めている。

令和元年内にインタビュー、撮影を終えている話者2名については、編集作業が終了し、5

階映像・音響室での閲覧を開始した。

今年度は新型コロナウイルスの感染状況が沈静化しないため、「東京近郊編」制作に替えて、貸出キット用オーラルストーリーのリニューアル作業を進めている。

既存の3作品「疎開体験編（7作品収録）」「空襲体験編（9作品収録）」「総集編（8作品収録）」については、これまでの映像に近年の作品を追加し、新たに「戦災孤児編」「動員学徒編」「戦没者の妻・子編」の制作を行う計画である。

また、令和3年度巡回展開催予定の兵庫県、島根県については3名の収録を行い、編集作業を進めている。

## 6 戦中・戦後の労苦を伝える語り部育成・活動事業

### (1) 語り部育成事業

戦中・戦後の労苦を体験した者が高齢化する中、当時のことを語り継いでいくことが難しくなっていることから、国民が体験した戦中・戦後の暮らしの上での様々な労苦を後世に語り継いでいく、戦後世代の伝承者である「語り部」を3年間の研修計画により育成するもの。なお、新型コロナの影響により、当初の計画より研修スケジュールが遅れている。

#### ・実施状況

- ① 平成28年度に第1期生の募集を行い、11名が研修に参加、月1回のペースで全36回の研修を終え、令和元年9月に9名が研修を修了し、7名が語り部として委嘱を受け活動中。
- ② 平成29年度に第2期生の募集を行い、7名が研修に参加、第1期生と同様に研修を実施しており、近日中に修了の予定。
- ③ 平成30年度に第3期生の募集を行い、7名が研修に参加、第1・2期生と同様に研修を実施し、令和3年度に修了の予定。
- ④ 研修の内容
  - ・1～2年目：語り部としての基礎知識研修、「家族の別れ」等のテーマ別研修、体験談の聴講・体験者との交流等
  - ・2～3年目：語り部実演・発表によるスキルアップ、講話原稿作成等

### (2) 語り部活動事業

3年間の研修修了後、昭和館から委嘱された語り部は、研修で作成した講話原稿により講話活動を行っている。令和2年度における第1期生の活動状況としては、以下のとおり。

- ・各偶数月第1日曜日に実施する定期講話会（昭和館内で実施）  
（新型コロナの影響により一部中止あり。）

	活動	聴講者数	開催日
1	臨時講話会（昭和館2Fひろば）	19	令和2年6月27日
2	定期講話会（昭和館ニュースシアター）	23	令和2年8月2日
3	定期講話会（昭和館3F）	23	令和2年10月4日
4	定期講話会（昭和館ニュースシアター）	27	令和2年12月6日

・外部からの語り部派遣依頼による派遣講話

	派遣先	聴講者数	開催日
1	世田谷区経堂小学校6年生	100	令和2年7月15日
2	ブックハウスカフェ（神保町）	28	令和2年8月22日
3	ブックハウスカフェ（神保町）	17	令和2年10月31日
4	板橋区立上板橋小学校6年生	42	令和2年11月11日
5	国立音大附属中学校2年生	70	令和2年11月17日
6	墨田区立立花吾嬬の森小学校6年生	72	令和2年11月17日
7	北豊島高等学校2年生	82	令和2年11月24日
8	調布市立富士見台小学校6年生	81	令和2年12月18日
9	府中市立本宿小学校	144	令和3年1月30日

## 7 情報検索システムの充実

### (1) 図書・雑誌の装備及びデータ入力

令和元年度に入手した図書・雑誌を閲覧できるようにするため、令和2年度は図書・雑誌1,043冊の装備と書誌及び目次データの入力を行い、令和3年2月下旬に図書室内での利用が可能となった。

### (2) 映像データの公開

5階映像音響室の大型テレビにて、写真展「東京情景―師岡宏次がみた昭和―」の開催にあわせて、戦中・戦後の子どもたちの様子や銀座、浅草等の街の様子、その他写真展で取り上げたトピックに関する映像を紹介した。さらに令和3年1月12日に亡くなった作家の半藤一利氏を追悼してオーラルヒストリーを紹介した。

米国立公文書館から入手した映像については、昨年度入手分を公開に向けて内容調査を行っている。既に館内で公開している映像は、昭和館YouTubeチャンネルにて58本を公開した。

### (3) 写真の公開

写真展「東京情景～師岡宏次がみた昭和～」開催にともない、寄贈された師岡宏次撮影写真の一部を公開した。師岡宏次撮影写真については、昨年度寄贈されたネガコレクションの整理を進め、約9,700コマのデータ化を行い、順次公開していく予定である。また、第78回資料公開コーナー「戦後の日本人と米軍キャンプとの交流」の開催にあわせて、米国立公文書館から入手した新規写真748枚を公開した。日本各地の米軍キャンプの様子や地元の日本人と交流する米兵の姿が写し出されている。その他、第1次及び6次南極地域観測隊に参加した地形学専門の吉川虎雄氏が所蔵していた昭和30年代の日本各地の空撮写真1,516枚を公開した。

新型コロナウイルス感染拡大防止により休館となっていたゴールデンウィーク期間(令和2年4月25日(土)～5月6日(水))には、「おうちで映像・音響室の資料をしてみよう!」と題して、SNSを活用し、クイズ形式で写真、映像資料を紹介した。

## 8 資料公開

### (1) 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために図書室、映像・音響室ともに令和2年2月28日（金）より6月1日（月）まで休室とし、6月2日（火）から再開した。サービス制限等については以下のとおり。

#### <図書室>

開架資料のみの利用とし、新聞、週刊誌、雑誌、閉架資料、室内の検索端末・データベースの提供を中止した。利用済みの本は、一定時間別室にて保管してから配架することとした。

座席数を制限し、定員を12名とした。資料寄贈等については対面での対応を避け、電話、メール等での対応とした。

8月には閉架資料の提供を冊数制限付き（5冊）で再開、来館者検索端末の1台を再稼働した。10月には定員を22人までとし、閉架資料の利用冊数を10冊までに増やした。さらに来館者端末を2台とし、新聞紙、週刊誌、戦史叢書等のデータベース提供を再開した。

#### <映像・音響室>

「ニュース映画検索」「歴史的音源端末」「調べてみよう！端末」「類似施設検索端末」「試聴機コーナー」は提供を中止した。また、座席数を制限し定員を14名とした。利用端末は限定し、キーボードの提供は中止とした。資料寄贈等については対面での対応を避け、電話、メール等での対応とした。

### (2) 昭和館懐かしのニュースシアター

ニュースシアター会場においてニュース映画を毎日上映し、新たに資料整理を終えた日本ニュースを加えて、145作品（令和3年1月31日現在）を上映した。さらにこれまでに制作したオーラルヒストリー8作品（令和3年1月31日現在）を紹介した。

例年「昭和の日」や「こどもの日」にはGW昭和館特別上映会等のイベントを実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止に伴い休館となったため、イベントは中止した。

また、平和祈念展示資料館が令和3年2月10日（水）から16日（火）に九段生涯学習館で開催する特別展示「宮崎静夫展 友を悼む」の連携企画として、シベリア抑留等に関するニュース映像を紹介する。

### (3) 映像資料等の提供状況

令和3年1月末日における映像資料等の提供データは以下の通りである。

資料	データ件数
静止画資料	30,276件
動画資料	3,428件
音響資料	14,082件
計	47,786件

#### (4) 資料公開コーナーの運用

収蔵している図書・動画・静止画資料を4階・5階の図書室、映像・音響室で公開しているが、さらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に、平成19年より1階ロビーにおいて資料公開コーナーを設けている。

令和2年度に実施した内容は以下のとおりである。

実施回	タイトル	期間
第76回	第12回中学生・高校生ポスターコンクール 入賞作品展示	令和2年3月31日(火) ～6月28日(日)
第77回	歌詞カードにみる戦後歌謡	令和2年6月30日(火) ～9月22日(火)
第78回	戦後の日本人と米軍キャンプとの交流	令和2年9月24日(木) ～12月27日(日)
第79回	昭和の化粧	令和3年1月5日(火) ～4月4日(日)

#### (5) その他

図書室では、来館者への利用促進として、様々なテーマを設けて図書を紹介しているが、令和2年度は「ニッポンのものづくり」「浪花千栄子と大阪」「昭和の住宅」等をテーマに関連した資料を紹介した。

「あなたの出身地は？ 昭和館で見られる47都道府県の資料」と題し、2か月ごとに各都道府県の関連資料の紹介をしている。

また、資料公開コーナー関連資料の展示紹介や、平和祈念展示資料館が九段生涯学習館において、令和3年2月10日(水)から開催する特別展示「宮崎静夫展 友を悼む」の関連本コーナーを設け、館内外との協力、連携をはかった。

小・中学生の利用促進を目的として、毎年夏休み中に子どもイベントのコーナーを設けていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、ワークシートや図書リスト等を配置した。ワークシートは「学童疎開」「動物たちと戦争」など6種類を配布し、約360枚の利用があった。

## 9 関係施設との連携

### (1) 関係施設等連携会議の開催

関係施設等連携会議(昭和館事務局)を開催するとともに、しょうけい館、平和祈念展示資料館との3館の連携に取り組んだ。

〔 関係機関：厚生労働省社会・援護局援護企画課、  
総務省大臣官房総務課管理室、平和祈念展示資料館、  
しょうけい館、昭和館 〕

第18回会議を令和2年10月16日(金)に開催

第19回会議を令和3年2月書面決議にて実施

### (2) 「夏休み3館めぐりスタンプラリー」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

### (3) 「宮崎静夫展 友を悼む」の開催

令和3年2月10日(水)～2月16日(火)

主催 平和祈念展示資料館

協力 昭和館、しょうけい館

場所 九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー

### (4) 巡回特別企画展の相互協力

ア 岩手県において戦後75年昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館3館連携企画展「未来へつなぐ戦中・戦後の記憶」を実施した。

令和2年10月2日(金)～10月11日(日)

イ 鳥取県における巡回企画展では、しょうけい館と平和祈念展示資料館についてポスターを掲示する等の周知を図った。

令和2年10月24日(土)～11月3日(火)

※ 岩手展、鳥取展の詳細は14～15頁に記載

## 10 昭和館運営専門委員会の開催

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、以下のとおり、昭和館主催の昭和館運営専門委員会を開催した。

- ① 第1回運営専門委員会開催  
令和2年6月書面決議にて実施
- ② 第2回運営専門委員会開催  
令和3年2月書面決議にて実施

## 1.1 アンケート結果 (令和2年4月1日～令和2年12月27日現在)

昭和館のアンケート調査は、平成11年7月から実施し、広報活動、各種企画展、常設展示室の改善の他、顧客満足度アップのため実施している。1階 ニュースシアター、4階 図書室、5階 映像・音響室、6階 常設展示室においてアンケートを設置している。

**昭和館について (特別企画展含)** ○回収枚数 514 枚 (特別企画展 329 枚含)

### アンケート概要

○昭和館をどのようにして知ったか (複数回答)

その他	通りかかって	昭和館だより (チラシ)	当館 HP・SNS	新聞・テレビ・ ラジオ	友人・知人	駅看板
26.4%	22.3%	17.1%	11.2%	11.2%	6.7%	5.1%

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未記入
56%	12.8%	6.4%	23.5%	1.3%

○展示内容 (常設展示室・特別企画展)

良い	普通	つまらない	未記入
87.7%	10.6%	0.8%	0.9%

○性別

男性	女性	未記入
59.7%	39.7%	0.6%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
16.9%	10.5%	7.2%	13.8%	16.7%	15.9%	13.2%	3.9%	1.9%

○住所 (常設展示室・特別企画展)

東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	その他	未記入
66.4%	9.4%	6.5%	9.6%	4%	4.1%

○展示を見て「戦中・戦後」の理解が深まったか (常設展示室)

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未記入
50%	46.7%	1.3%	2%	0%

### 【主な意見 (夏の特別企画展)】

- ・映像があってわかりやすかったし、実物があったのでよりその時に入りこめたように思う。わからない漢字があったので難しい漢字には「るび」をふって欲しかった。(小学生・女性)
- ・品物に書いてある文字を今の文字 (漢字) と比べることが楽しかった。「Hello」を「Hallow」と間違えて書いてあるのが特に面白かった。(中学生・女性)
- ・教科書やテレビからは伝わらない当時の人々の苦悩や日々の営みが手に取るように伝わった。軍国からすぐさま平和へ移ったわけではなく、とにかく生きようとする中で今日の平和な日本が創られてきたのだなと感じた。玩具や映画ポスターを見ていると、同じ国の人間が異なる営みをしてきた姿が思い浮かんだ。(高校生・男性)
- ・無条件降伏～占領期、その後の独立回復についてわかりやすく解説してあり勉強になった。この時期の政府や世界政治の歴史は学んできたが、その波乱激動の時代に生きた国民の生活についてはなぜか

しっかり学んだことがなかった。この展示を通じて人々の暮らしを見ることができた。特に「悪法も法なり」として闇市を拒否し、餓死した検事と教師が印象的だった。今私が享受している恵まれた環境の恩恵と日本の繁栄は、敗戦後の日本人が努力を重ね苦しみに耐えた結果であると感じた。改めて日本をよりよい国にしていく我々若者の責任を感じた。(大学生・男性)

- ・小学6年生が書いた、終戦・敗戦後の日記を見て泣きそうになった。今の小学6年生では考えられないような内容で読めたことに感激。できれば他の作品も文字起こしして欲しい。(20代・女性)
- ・戦後の日本の復興や生活の様子をリアルに感じられた。当時の人が書いた日記を見たことでよりリアルに感じた。最後の展示を見て、講和条約に対する国民の想いや当時の政治の学びが深まった。

(複数意見)

- ・占領期の展示は待ちに待っていた企画だった。コロナの影響で展示物をだいぶ絞ったのだと思うが、機会があればフルの展示が見たい。年々、キャプションやパネルデザインがスタイリッシュになってとても見やすく素敵だと思う。(30代・女性)
- ・戦後75年がたち、ギリギリ戦争を知っていた親も他界し、戦争の悲惨さを語り継ぐことの大切さを展示を見て感じた。(40代・女性)
- ・当時の貴重な資料を通じて人々の声が聞こえてくるようだった。ジェラルミン製のランドセルにはびっくりした。戦後の世論調査の結果も印象的だった。(40代・女性)
- ・占領下の期間について知る機会がこれまでまったく無かった。もっと学校などで近代史(特に戦前・戦後)議論されるべきだと思う。グローバル化の時代だからこそ自国の歴史を知ることが大事だとこの展示を通じて改めて感じさせられた。(40代・女性)
- ・写真展と併せて見たが現在と当時の違いがわかり興味深かった。案内パネルにもなっている新橋の写真のように昔の写真でカラーになっているものや日常を切り取った物をもっと見たいと思った。

(40代・女性)

- ・まさしく日本史の教科書に載っているような展示ばかりで大変興味深かった。特に「パン焼き器」「布製ランドセル」「ノリタケチャイナ」には驚いた。今後もこういった展示をして欲しい。

(50代・男性)

- ・占領から独立まで祖父母からいろいろ聞いていたが、この企画展で当時の写真や書籍、日用品を実際に目にすると当時どれほど生きていくのが大変だったのかよくわかった。時間があればもう一度ゆっくりと見たい。(複数意見)
- ・初めて見る展示物が多数あり勉強になった。戦前と戦後、占領中の独立化で何が変わったのか。表があるとより理解が深まると思う。戦後すぐのカラー写真は貴重。(60代・男性)
- ・現在の民主的な仕組みはすべて占領下にできたものだということを再認識した。(60代・男性)
- ・展示作品はバランスよく選ばれていると思った。「この史代」の戦争当時の様子を描いたマンガ展示は当時の雰囲気がよくわかった。年代表示は和暦(西暦)と記述されていてとても良かった。(70代・女性)
- ・子供のころに見た写真など楽しめたが、引揚孤児の写真には心が痛んだ。(80代・男性)

常設展示室について

○回収枚数 150 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未記入
73.4%	11.3%	4%	11.3%	0%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未記入
83.3%	15.3%	1.4%	0%

○「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未記入
50%	46.7%	1.3%	2%	0%

○展示アプリガイドについて

わかりやすい	普通	わかりにくい	未使用
34.3%	31.4%	0%	34.3%

【主な意見】

- ・玉音放送の訳文が良かった。コロナで見られなかった所をもう一度来て見学したい。
- ・初めて知ること多かった。また展示方法も時代別でわかりやすかった。
- ・何度も来館しているが(小・中・高・大)、年齢が変わるについて見方が変わるのでおもしろい。
- ・普通では見られない貴重なものがたくさん展示してあって良かった。
- ・絵や写真だけでなく、実物や模型なども置いてあったので良かった。
- ・興味深い内容が多く見入ってしまった。
- ・小学生の子どもに見せると勉強になると思い来館。戦時中の生活は今の子どもには想像できないものだと思う。
- ・小学1年生の娘の希望で来館。戦争ということの意味をいまいち理解できていない娘にとって、昭和館は戦争について知ることのできる良い場所だと思った。戦争について少しずつ理解していただきたい。

ニュースシアターについて (複数回答)

○回収枚数 31 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未記入
35.5%	6.5%	3.2%	48.4%	6.4%

○上映時間

普通	長い	短い	未記入
83.9%	9.7%	3.2%	3.2%

○上映本数

普通	多い	少ない	未記入
67.7%	0%	3.2%	29.1%

○上映希望年代

昭和10年代	昭和20年代	昭和30年代	未記入
30.4%	21.7%	43.5%	4.4%

○上映希望映像

事件	文化	スポーツ	その他	未記入
27.7%	29.8%	14.9%	19.1%	8.5%

図書室について (複数回答)

○回収枚数 1 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未記入
0%	0%	0%	100%	0%

○主な目的

本・雑誌を読む	レポート・論文	出版等の調査	個人の趣味・研究	その他	未記入
33.3%	33.3%	0%	33.3%	0%	0%

○書籍、雑誌の量

適当	少ない	未記入
0%	100%	0%

音響・映像室について

○回収枚数 3 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未記入
66.7%	33.3%	0%	0%	0%

○利用した資料

写真	映像	レコード	絵画	未記入
25%	75%	0%	0%	0%

○情報検索システム

使いやすい	普通	使いにくい	未記入
66.7%	33.3%	0%	0%

**紙芝居 (全 1 回)**

○回収枚数 44枚

**アンケート概要**

○紙芝居をどのようにして知ったのか \*抜粋

通りかかって	昭和館 HP	その他
60%	20%	20%

○見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目	未記入
77.8%	0%	0%	22.2%	0%

○紙芝居の内容

大変良い	良い	普通	つまらない	未記入
55.6%	33.3%	11.1%	0%	0%

○性別

男性	女性	未記入
66.7%	33.3%	0%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
11.1%	11.1%	33.3%	0%	0%	11.2%	33.3%	0%	0%

○住所

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他
100%	0%	0%	0%	0%

**【主な意見】**

- ・通りかかりだったが、思いがけず楽しめた。(30代・男性)
- ・臨場感があってとてもおもしろかった。(30代・女性)

**巡回特別企画展について**

◎岩手展 令和2年10月2日(金)～10月11日(日)

○回収枚数 579枚 ※アンケートはしょうけい館、平和祈念展示資料館と合同

**アンケート概要**

○展示会をどのようにして知ったか

新聞記事	テレビ・ラジオ	遺族会	ポスター・チラシ	学校からの案内	その他
20.8%	11.9%	15.3%	13.5%	10.1%	28.4%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未記入
75.1%	23.3%	0.9%	0.7%

○性別

男性	女性	未記入
54.2%	44.4%	1.4%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
6%	3.8%	5.4%	15%	15.4%	16.4%	28.2%	8.3%	1.5%

○住所

盛岡市内	岩手県内	岩手県外	未記入
53.9%	40.9%	3.6%	1.6%

【主な意見】

- ・わかりやすかったし、昔がどんなに大変で今が幸せだと知ることができた。(小学生・男性)
- ・戦争のない平和な世界が続くといいなと思った。(小学生・男性)
- ・戦争は怖いなと思った。戦争で亡くなった人たちの分まで生きたい。(中学生・女性)
- ・千人針や赤紙を今までテレビや教科書でしか見た事がなかったので見ることができて良かった。(複数意見)
- ・学校で習った事以外の知らなかった事実を知ることができて良かった。(中学生・女性)
- ・遺品や写真に説明がついていてわかりやすかった。(中学生・女性)
- ・昔に生まれた人はこんなにも辛い思いをしていたんだということがわかった。私は戦後何十年もたってから生まれてきたので今のような平和な日本しか知らない。この何気ない平和な日常に感謝してこうと思わせる企画展だった。(中学生・女性)
- ・「戦争ほど馬鹿げた事はない」という言葉が強く印象に残った。本当にそうだと思う。国を挙げて一生懸命、武器や戦闘服を作り、人を殺し馬鹿馬鹿しい。この展示会で戦争に振り回された庶民の人たちの様子がよくわかり戦争のイメージがより鮮明になった気がする。(高校生・女性)
- ・戦争について知らなかったことを深く知ることができて良かった。貴重な体験ができた。(高校生・女性)
- ・県内でも勉強できるのはありがたい。感染症対策もして安心して見学できた。(20代・女性)
- ・映像や絵による解説も多く非常にわかりやすい展示だったと思う。40～50年代の岩手の映像は初めて見たので驚いた。岩手県から見た戦争について学べて大変勉強になった。(20代・男性)
- ・戦争についてはずっと語り継がれていかなければならないものであると改めて考えさせられた。(20代・男性)
- ・悲しくてやりきれない気持ちになった。戦争のことをもっと伝えるイベントをして欲しい。(30代・男性)
- ・いろいろと考えさせられる展示だった。またこのような機会があれば次は娘(小学生)を連れて来たい。平和の尊さを感じる時間となった。(30代・女性)
- ・子を持つ母として赤紙が我が家に届いたらと思うと涙が出そうになった。生きる時代は違えど人間として同じ生命を生きる中でこの戦時中の人々の体験を知るといのは非常に大切なことだと改めて思った。このような企画をしていただいてありがとうございます。(40代・女性)
- ・子供が学校から持ってきたチラシで今回の企画展を知り参加した。子供たちにも戦争の恐ろしさを知って欲しいと思い連れてきたかったが、まず私が学んでからと思い来場した。子供たちを連れて来たい。(40代・女性)
- ・戦争下の岩手について知らないことが多かった。実際に使われていたもの等が胸に迫る。(40代・女性)
- ・身近に昔の暮らしや昔の事を子供たちに教えてくれる人がいないので、子供たちが歴史や昔の事を知るよい機会になり勉強になったと思う。(40代・女性)

- ・戦争体験について語り継ぐ人が少なくなっていく現実に対応していくか考えさせられた。(40代・女性)
- ・ちょうど小学校で戦争について勉強していた時にこのような展示があったので良い機会だった。本やテレビで見ることはあっても実際の物を自分の目で見ることができ、子供たちも考え方が変わったようだ。(40代・女性)
- ・説明文の簡潔さと、的を得た表現が良かった。岩手県内の写真提供者に知己を得た方が多数いたので親しみを持った。(50代・男性)
- ・全体的に非常に見やすい流れで大事なところをピンポイントで紹介されていたのが良かった。母の世代の様子も知ることができた。身近な岩手県の知らなかった内容も多くもっと深く知りたいと思った。来て良かった。(50代・女性)
- ・シンプルな展示であるが当時の暮らしがよくわかり良かった。(70代・女性)
- ・3館を一緒に見ることができ、それぞれの内容を知れて大変良かった。岩手県の体験者の話も大変良かった。思い出すことが多かった。(70代・男性)
- ・継続した取り組みが必要。記憶を残すために記録が必要。(70代・男性)
- ・戦争を知らない人たちがほとんどとなった今、その人たちに見て欲しいと思う。当時辛かった出来事を思い出した。千人針を母が婦人会の方々と召集時にお願ひしたこと。父・兄の出征。妹も戦地に行った。戦後の苦しみも大変だったが我が家は他家と比べ明るい家庭だったと思っている。(80代・男性)
- ・テレビニュースで開催を知った。私自身、戦中戦後について話すことができないもどかしさがある。もう少し宣伝してもよいのではないか。知らない人が多くてもったいない。(80代・女性)
- ・盛岡市以外の岩手県各地でも開催して欲しいと思った。(複数意見)
- ・解説してくれる人がいたらよいのと思った。(複数意見)
- ・歴史を伝えていくことの難しさを感じる。このような資料展示の継承を今後もお願いしたい。(複数意見)
- ・非常に良い企画だったと思う。ぜひ中高生の平和学習の場にも生かして欲しい。(複数意見)
- ・若い世代にもぜひ見て欲しいと思った。3館になかなか行けないので良い機会となった。(複数意見)

◎鳥取展 令和2年10月24日(土)～11月3日(火)

○回収枚数 332枚 アンケート概要

○展示会をどのようにして知ったか

遺族会	新聞	テレビ・ラジオ	通りかかって	友人・知人	その他
4.3%	13.3%	15.7%	26.9%	13.3%	25.6%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未記入
76.5%	21.1%	0.9%	1.5%

○昭和のくらしや文化について理解が深まったか

よくわかった	まあまあわかった	わかりにくい	未記入
58.4%	39.5%	0.9%	1.2%

○特設コーナー「ポスターコレクション～高橋春人の仕事～」について

良い	普通	わかりにくい	未記入
63%	32.2%	2.4%	2.4%

○特設コーナー「この史代が描いた昭和の暮らし」について

良い	普通	わかりにくい	未記入
66.3%	28%	2.4%	3.3%

○特設コーナー「人形作家・安部朱美の世界」について

良い	普通	わかりにくい	未記入
66.3%	29.5%	2.1%	2.1%

○性別

男性	女性	未記入
33.7%	65.1%	1.2%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
6.3%	5.7%	5.4%	12.4%	18.4%	20.2%	22.6%	8.4%	0.6%

○住所

鳥取市	倉吉市	米子市	その他の鳥取県	その他の都道府県	未記入
69.3%	3.9%	5.4%	14.2%	6.0%	1.2%

【主な意見】

- ・鳥取の写真がいくつかあり、同じ空間であのような事が起こっていたのだという事を実感した。  
(大学生・女性)
- ・広島などでこのような企画展はよく見るが、鳥取で戦争の風景があったと学べる機会はあまりないのでとても良かった。(大学生・女性)
- ・身近に戦争経験者やそういう話を聞いた人もいないので、忘れてはいけないという思いが強くなった。  
(大学生・男性)
- ・戦時中の品々を直接見て、当時の暮らしがとても生々しく伝わってきた。(複数意見)
- ・時代を感じられてとても良かった。高齢者の方々は懐かしかったようで、会話がはずんでいた。  
(30代・女性)
- ・安部朱美さんの人形が見たくて来た。昭和の時代の展示とはあまり理解していないまま来たが、懐かしい感じがした。(30代・女性)
- ・ポスターも原画も人形ももっとたくさん見たかった。偶然通りかかって覗いたが予想以上に良かった。  
(50代・女性)
- ・無料とは思えない充実した内容の展示だった。実物や写真をたくさん見ることができ勉強になった。安部朱美さんの人形、特に少年のまなざしが印象に残った。(50代・女性)
- ・戦中・戦後の日本の暮らしがわかった。中学生の子供がどうしても見に行きたいと言うので来たが、来て良かった。(50代・女性)
- ・どの資料もポスターもわかるわからないを越えて貴重な物で、戦争中そのものを表していて心に響いた。千人針や召集令状、黒塗りの教科書、米軍のビラ。手に取ってみたいと思わせる物ばかりだった。  
(60代・女性)
- ・大変良い企画展だった。私自身、戦争や平和に関する展示会など多くを体験してきたつもりだが、初めて見るポスターや鳥取の写真などもあり興味深かった。孫と一緒にだったのであの頃の思い出などを伝えながら回った。体験談の映像などじっくり見聞きする機会は子供たちにとっても大切な事と思う。  
(60代・女性)
- ・ずっと楽しみにしていたので満足した。戦争孤児が靴磨きをしている姿に感動。大変な時代だったの

だなどつくづく思った。(70代・女性)

- ・戦争を体験したので、当時の不自由な生活や疎開したことなどを思い出した。(80代・女性)
- ・戦中・戦後の様子や暮らしを思い出し、懐かしくて涙がでた。(複数意見)